

森祐齋香鴻山野梅成中中辻武高太吉大林

— 同人 —

田 蘇 池 本 間 本 瀬 野 西 部 智 安 幸 永 西
 は 清 西 信 政 秀
 の 善 二 幸 修 光 重 無 孝 太 太 鐵 吸 施 孝 重

ほ 雄 郎 精 武 二 辰 信 敏 一 郎 郎 二 江 門 雄 孝 雄

編輯室より

▽……昭和十七年度に於ける情報局國民演劇の参加作品の内、本年一月二月東京歌舞伎座に續演された菊吉の「菅原」に情報局總裁賞が授與された。作も俳優も定評のあるもので、之れが選定されたことは我が國の歌舞伎のために萬丈の氣焔を吐いたものであるが、眞山青果氏、久保田萬太郎氏以下當代の第一線作者や國民演劇樹立の旗しるしを掲げてゐる劇團の作品も参加してゐるのに情報局賞にも價するものがなかつたのは洵に残念であるこの國家的催しのために本年度は更に奮起されんことを希望する。

▽……若月保治先生より玉稿「淨瑠璃と洒落本」を頂戴した。先生の淨瑠璃史に於ける御功績については今更茲に申上げる迄もないことであらう。近く「人形淨瑠璃研究史」の大作が刊行される運びになつてゐる。

▽……我が國固有の藝道精神の闡明はこうした時局に最も肝要なことであるが、能樂に於ける智識人である片山博通先生に御願ひして力作「藝道」を得た。藝道の實際家の言葉として十分味つて頂きたい、先生は近著「眞の花」に見る如く藝道精進の傍ら澤山の有益な主張を發表されてゐる。

淨瑠璃雜誌 第四百十八號

(昭和十八年 四月號)
 毎月一回二十日發行

●本誌定價
 一 部 金五十錢(送料別)
 六 部 金三圓(送料共)
 十二部 金六圓(送料共)

○御注文は一切前金の事
 ○雜誌發送を以て領收證に代ゆ
 ○外國送りは一冊に付郵税十錢を要す
 ○座穴版二三九二八番

廣 告 料

普通 一行 金三十錢
 二 等 一行 金二十圓
 一 等 一行 金二十圓
 特 等 一行 金三十圓

○特等は一頁以下の需に應ぜず六回以上の特約には割引す
 ○製版を要する時は其實費を申受く
 ○廣告料は總て前金の事
 ○一行九ポイント活字

發行所 樋口虎之助
 編輯人 坂口秀吉

印刷所 高尾印刷所
 大阪市西區江戶堀下通四ノ三〇
 大阪市西區江戶堀下通四ノ三〇

發行所 淨瑠璃雜誌社
 大阪市西區千本通二二三